

各 位

立命館宇治中学校・高等学校

校長 Hicks Joseph

## 2022年度 立命館宇治中学校・高等学校 公開研究会（探究）実施について（ご案内）

向寒の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本校教育活動に対するご支援・ご協力を賜り誠に有り難うございます。

本校では2019年度より文部科学省のWWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業（以下WWL）の指定を受けて様々な取り組みを進めてきました。予算措置は昨年度で終了しましたが、引き続き三菱みらい育成財団からも助成していただきながら、WWL校として探究カリキュラムやネットワークのより一層の充実を図っています。

このたび、総合的な探究の時間の実践報告をかねて、様々な方にご協力いただいで下記のようなプログラムで探究の公開研究会を開催させていただくこととなりました。ご多忙中のところ大変恐縮ではございますが、ぜひご来校いただき研究や授業についてご指導・ご助言を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、本研究会はハイブリッドでの開催ですが、オンラインについては十分な対応ができず、音声や映像の不具合が起こる可能性もあります。この点予めご了承ください。

### **2022年度 立命館宇治中学校・高等学校 探究公開研究会**

- 1、実施日時：2023年1月20日（金）12:45～16:45、1月21日（土）8時30分～12時20分
- 2、実施会場：立命館宇治中学校・高等学校
- 3、参加費用：無料
- 4、実施内容：

#### **1月20日（金）＜定員100名＞ 12時～受付**

12時45分～15時 全生徒発表（IGコース・IMコース・中学生）（各教室）

15時15分～16時45分 校長TALK（大ホール）

「尖った学校のリーダーが語り合う！これからの教育、これからの学校とは？」

#### **パネリスト：**

押方 修（宮崎県立宮崎大宮高等学校 校長）

谷本 昇（福岡雙葉中学校・高等学校 校長）

織田澤 博樹（青翔開智中学校・高等学校 校長）

池田 靖章（香里ヌヴェール学院中学校・高等学校 校長）

Hicks Joseph（立命館宇治中学校・高等学校 校長）

**ファシリテーター：**浮田恭子（初芝学園教育顧問、元立命館小学校校長、宝塚大学准教授）

#### **1月21日（土）＜定員80名＞ 8時30分～受付**

8時50分～趣旨説明など

9時～10時20分 分科会・第1ラウンド

10時30分～11時50分 分科会・第2ラウンド

11時50分～12時20分 各分科会報告、まとめのあいさつ

\*分科会は「①生徒の探究発表」「②学校間コラボ」「③学校と学校外のつながり」「④IBの探究」の4つです。  
最大2つまで参加可能です。

#### <分科会の詳細／内容など>

##### ①**生徒の探究発表**：高校生の探究学習の成果を発表・交流する。

各学校で様々な探究学習が進められているが、生徒たちが学校を越えて発表し、様々な方にフィードバックをもらうことの教育的価値は大きい。本分科会では、会場校立命館宇治高校に加えて、いくつかの学校の複数校でのPBLや探究学習の成果発表を行う。生徒の発表の場であると同時に、参加者が様々な探究学習にふれ、生徒の声を聴くことで自校での取り組み推進の参考になることを目的としている。

##### ②**学校間コラボ**：複数の学校で協働した取り組みの発表・交流

複数の学校での協働は関わる生徒や教員にとっての成長の場になり、これからの教育活動において、学校を越えた協働が重要なキーワードになる。本分科会では、仙台三高と立命館宇治の教科での協働、香里ヌヴェールX追手門で実施したPBL、立命館宇治が実施したFOCUSの取り組みを紹介する。様々な形の協働について、これからの可能性や実施する際の課題について議論を深めたい。

##### ③**学校と学校外のつながり**：学校と学校外の組織との連携した取り組みの発表・交流

生徒のプロジェクト等の活動が進めば進むほど、学校だけで指導する限界も明らかになる。社会実装のレベルまでを支援することを考えると、学校外の組織との連携が重要になる。本分科会では、生徒のプロジェクト等を支援する仕組みを研究している立命館宇治の教員による報告と、学校と学校外をつなぎ学校改革を進めている昭和学院の取り組みの報告を行う。学校と学校外の組織の連携についてはもちろん、あるべき組織についても議論を深めたい。

##### ④**IBの探究**（コア科目 TOK・CAS・EEを中心に）：IB コースコア科目についての調査報告など

国際バカロレアのディプロマ・プログラム（IBDP）は厳格な2年間のプログラムであるが、必修科目として3つのコア科目がある。知識の理論（TOK）と Extended Essay（EE）と、Creativity, Action, Service（CAS）がそれにあたる。生徒はTOKで考え方を学び、EEで論文を作成し、CASでボランティアなど社会的活動に参加するが、探究的な学習のカリキュラムを考えるにあたりIBの知見は大いに参考になる。本分科会ではIBDP認定校である立命館宇治高校での実践の調査報告（日本語）や、IBの考え方を教科での実践につなぐことを考えた研究を報告する。日本版のコア科目実施は可能か、IBのコア科目から学べることは何かについて議論を深めたい。

#### <校長・ファシリテータープロフィール>

押方 修（宮崎県立宮崎大宮高等学校 校長）

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）指定校の飯野高校校長を経て、ワールド・ワイド・ラーニング(WWL)コンソーシアム構築支援事業指定の宮崎大宮高校へ。両校で校長として次世代の教育作りを牽引している。

谷本 昇（福岡雙葉中学校・高等学校 校長）

鹿児島県鹿屋市出身。2009年に50歳で民間人管理職として福岡市立福翔高校に赴任し、2013年校長に就任。2018年に公立高校では初めて部活動としてeスポーツチーム（部活動としてはコンピューター部）を設立。2020年度から福岡雙葉中学校・高等学校校長として教育改革を推進中。

織田澤 博樹（青翔開智中学校・高等学校 校長）

群馬県沼田市出身。電気通信大学大学院修了。大手電機メーカーのシステムエンジニア、キャラクタービジネス業界を経て、青翔開智の立ち上げに設立準備室室長として関わる。2020 年度より校長に就任。「決定権をできるだけ先生や生徒たちに譲渡し、自律した学校を作っていきたい」という思いから、「全員校長」「全員生徒会長」という独自の組織運営ルールを掲げている。

池田 靖章（香里ヌヴェール学院中学校・高等学校 校長）

大阪府高石市出身。京都教育大学大学院教育学研究科修了（教育学修士）。2019 年度、当時現役最年少校長として、香里ヌヴェール学院中学・高等学校に就任し、探究学習を軸に教育改革を実行。その他高大接続や PBL、英語教育、そして海外進学などの進路改革を推進。著書に『総合的な探究』実践ワークブック―社会で生き抜く力をつけるために』学事出版など。

H i c k s J o s e p h（立命館宇治中学校・高等学校 校長）

アメリカ生まれ。在学中に文科省国費留学生として来日。桜美林大学教授、立命館アジア太平洋大学教授などを経て、2020 年度より現職。2004 年度には中央教育審議会の委員もつとめた。オペラ歌手としても 2 期会準会員として 10 年間活動している。

ファシリテーター 浮田 恭子（初芝学園教育顧問）

滋賀県立高校教諭（英語科）ののち、立命館中学校・高等学校へ。立命館小学校校長、宝塚大学准教授を経て現職。

## 5、定員、申込方法、およびお問い合わせの連絡先

\* 学校の定員は 1 月 20 日（金）100 名、1 月 21 日（土）80 名です。定員をこえた場合はお断りまたはオンライン参加のお願いをさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

\* 参加を希望される場合、Web から申し込みをお願いします。

<https://kokc.jp/e/90b19a10f24856e6253c09cfb35df359/>

\* オンライン参加の方には、2 日前をまでに ZOOM の ID や資料など送らせていただきます。ただしオンラインでは十分な対応ができないこと、あらかじめご了承ください。



## 6、本校の所在地・アクセス

住所：郵便番号 611-0031 京都府宇治市広野町八軒屋谷 33 番 1

電話番号：0774-41-3000（代表）FAX0774-41-3555

近鉄京都線大久保駅、JR 奈良線宇治駅より京阪宇治交通バス約 10 分

JR 新田駅、JR 宇治駅、近鉄大久保駅よりタクシー約 10 分

（バスの本数が少ないため、来校される際はあらかじめ時刻表を確認されることをおすすめします）

[http://www.keihanbus.jp/local/timetable\\_index2.html](http://www.keihanbus.jp/local/timetable_index2.html)

## 7、その他

### 1、車でのご来校について

本校には駐車場がありません。周辺の路上・宇治植物園駐車場、太陽ヶ丘運動公園等に駐車できません。お車でのご来校はご遠慮ください。

### 2、ご質問等の問い合わせにつきましては下記の連絡先をお願いします。

電話番号：0774-41-3000（代表） 担当：酒井淳平 メールアドレス：junpei@ujc.ritsumeimei.ac.jp